

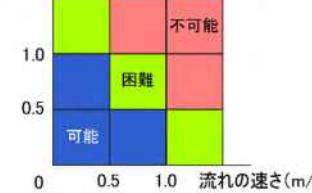
□ 水深が浅い場合でも水の流れが速いと危険です！

歩行避難困難度

浸水中の歩行避難困難度

水深(m)

※計算による目安です。



0 0.1 0.2 0.3 km

田中池

田中山ため池

浸水し始めたら無理な避難をしない

歩いて避難できる水深の目安は、ひざくらいまでです。また、水深が浅くても流れが速い場合は危険です。浸水し始めたら、近くの高所へ一時的に避難し、流れが治まるのを待ちましょう。

□ 避難に備え早めの情報収集を行いましょう。

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
嘉麻市ホームページ (防災・危機管理)	市内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.city.kama.lg.jp/life/1/10/120/
福岡県防災ホームページ (防災情報)	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/
気象庁ホームページ	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/index.html

□ いざというときの連絡先

◆行政機関

機関名	電話番号
嘉麻市役所	0948-42-7465 (農林振興課)
警察署	110
消防署	119

◆家族や親せき、知人など

氏名	電話番号

【お問い合わせ先】

嘉麻市役所 TEL 0948-42-7465 (農林振興課) 〒820-0292 福岡県嘉麻市岩崎1180番地1



嘉麻市ため池ハザードマップ

(田中池・田中山ため池)

作成:令和4年3月

この「ため池ハザードマップ」は、地震などにより、田中池・田中山ため池が満水時に同時に決壊した場合、想定される浸水区域や浸水深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

ため池災害の特徴

- 地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
- 決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ため池の下流では大きな被害になることもあります。



【ため池の現状】

ため池の多くは農業用水を確保することを目的とし、谷をせき止めて築造されました。現在では、利水はもとより動植物の生息・生育環境として貴重な役割も担っています。しかし、近年では施設の老朽化もみられ、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震が発生した場合、堤防が損傷を受け決壊に至る可能性もあります。万が一ため池が決壊した場合、池の下流には一度に大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。現在は洪水吐よりも水位を下げるなど、決壊の危険性を低減させる管理をしています。

□ ため池ハザードマップの活用方法 (急な事態へ備えましょう)

【1】想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- ・災害時の様々な事態をイメージしましょう。



【4】日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



【2】避難場所を決めておきましょう。

- ・危険度やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・浸水深が3mを超える区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- ・家族の連絡先を確認しておきましょう。



【5】防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



【3】避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



【6】市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・嘉麻市防災マップには、大雨に伴う河川のはん濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。



ため池ハザードマップ

田中・田中山



- このハザードマップは地震などによりため池が決壊した時に想定される浸水範囲及び浸水深を示しています。
- ため池以外からのはん濫は想定していません。
- 災害の状況によっては表示範囲以外においても被害が発生する可能性があります。

